

◇皆さんに期待すること

先日、皆さんが受講した『学校組織マネジメント』のオンデマンド研修にて、講師の浅野先生が野球を引き合いに出して話をされていたのを覚えていますか？より良く組織で働くヒントがたくさんあるので、詳しく見ていこうと思います。

学校の仕事は、「三遊間だらけ」



三遊間とは、野球の守備位置で、サード(三塁手)とショート(遊撃手)の間のこと。飛んできたボールをどちらが取るかは決まっていない。

『試合に勝つ!』
『優勝する!』
『甲子園に行く!』など



目標の共有

野球において打球を捕るためには、試合展開を『把握』し、それを基に『予測』を立て、事前に良い『準備』をします。

また、打たれたボールに飛びつく『積極性』や、一人めが捕れなかった場合の『フォロー』も大事です。

そして、最も大事なものは『目標の共有』です。

例えば、「試合に勝つ!」という目標がなかったとしたら、あるいは、目標はあっても選手がそれに向かえていないとしたらどうでしょうか。きっと仕事として与えられたポジションからは動かず、自分の目の前に飛んできたボール以外に積極的に手を出すことはないでしょう。組織として目標を共有し、一人ひとりがその目標を自分の中に落とし込むことが、『三遊間』を守れるような組織の前提であるといえます。

10年経験者の皆さんをはじめとするミドルリーダー世代には、学校で働く教職員のそれぞれが学校の目標に向かえるよう、コミュニケーションを図り、働きかけていく役割を期待しています。その際に、今年度の10年経験者研修の内容が皆さんの役に立てば幸いです。

1年間の研修受講お疲れさまでした。